

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第11回

1. 実施日

令和3年10月23日（土）1、2限

2. 場所

334 教室 A-1～5、333 教室 B-1～5、332 教室 C-1～5、331 教室 D-1～5

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 宇川 和余、佐々木 啓成、中澤 知里、宮崎 雄史郎

5. 内容

「研究報告書」Ver.2=ポスター作成のつづき

「調査シート」②や大阪大学アカデミック・ライティング講座で作成した「パラグラフ・ライティングワークシート」をもとに、「研究報告書」Ver.2=ポスターを作成する。

ポスターの内容をチームでチェックする。

何を伝えたいかが明確になっているか？

フォントの種類が統一されているか？フォントの大きさは適切か？

図や表の活用、デザインも含め、見やすいものになっているか？

論理の流れがわかりやすいか？（RQごとのつながり、見出しは効果的か？）

引用文献・参考文献をRQごとに示しているか？

ポスターセッションに向けての準備

発表原稿や想定問答集を作成する。発表練習をする。

発表内容をチームでチェックする。

時間が守られているか？（発表時間6分）

原稿を読み上げるだけになっていないか？

発表の態度は良いか？（声の大きさや目線、抑揚など）

質問者の意図を理解したうえで質疑応答を行っているか？

6. 学び

「研究報告書」=ポスターの作成をとおして、①研究内容を明確にすること、②RQを論理的につなげること、③図、表を効果的に使うこと、④引用文献、参考文献を明記することを学習する。

7. 次回への課題

ポスターセッション（1月23日）を行う。オーディエンスからの質問や、講師・TAからの助言・評価内容を受けて研究内容をブラッシュアップする。

8. 本時の振り返り

この授業では、11月6日（土）に実施されるポスターセッション（課題研究中間発表会）のための発表用ポスターを作成した。また、ポスターセッションでの質疑応答のために想定問答も考えた。ポスターセッション用のループリックを配布し、このループリックを用いて、課題発見力、課題分析力・調査力、表現力などを評価することを事前に連絡した。